

市民アンケート調査結果（概要版）

市では、平成10年3月に都市マスタープランを策定しました。それから約10年が経過し、時代背景や社会環境も大きく変化しています。これらの変化に対応し、市が将来も暮らしやすい都市であり続けるため、現在の都市マスタープランを見直し、新しい都市づくりの指針となる第2次都市マスタープランの策定に向けて取り組んでいます。この見直しにあたり、市民のみなさんのご意見やご提案をお聞きするため、平成18年12月、市民アンケート調査を実施しました。ここでは、その調査結果の概要をお知らせします。なお、見直しにあたっては、この調査の他、総合計画などの直近で行われたアンケートも参考にしながら検討を進めます。

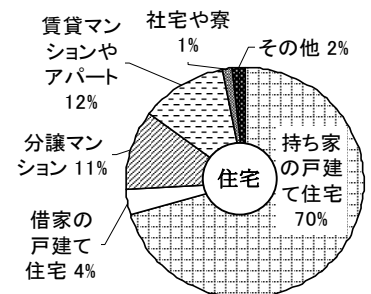
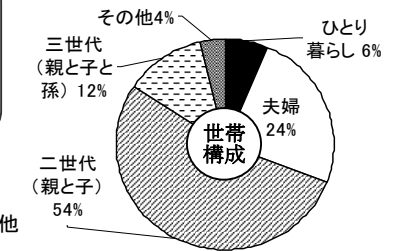
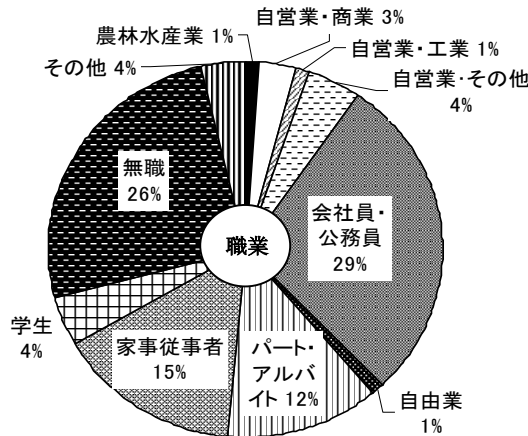
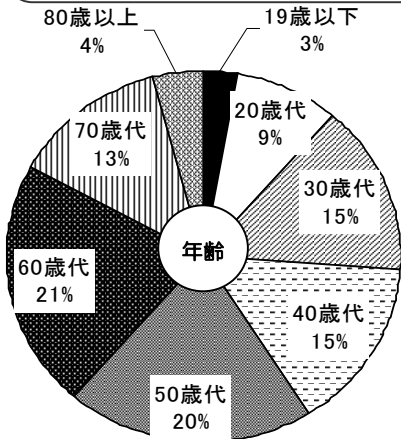
市民アンケート調査の概要

対象者：16歳以上の市民の方約5,000名
 （住民基本台帳より無作為に抽出）
 方法：郵送によるアンケート形式
 実施時期：平成18年12月4日～22日
 回収状況：回収率35.6%（回収1,770票）

（注：「都市マスタープラン」とは、総合計画で定めた将来都市像を実現するための「都市計画（土地利用、道路・公園等の整備、まちの開発などの計画）」の指針です。）

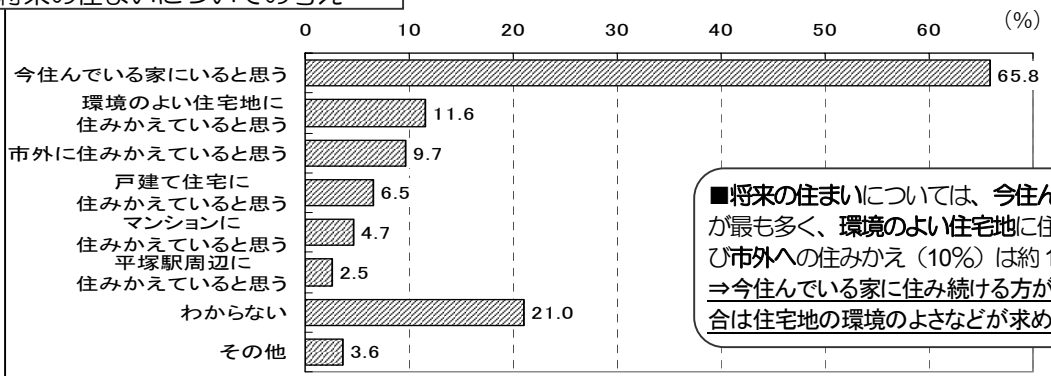
●回答者の属性 「年令、性別、お住まいの地区、職業、家族構成、住まいの形態」をお聞きました。

- 回答者の年代では、50～60歳代が他の世代よりやや多くなっています。
- 職業では、会社員等29%、無職26%などとなっています。
- 世帯構成では、二世帯が54%、夫婦のみまたは一人暮らしが30%となっています。
- 住宅では、戸建て住宅が74%が最も多くなっています。



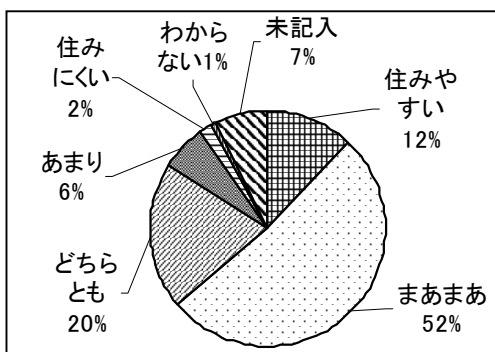
●将来の住まいについて 「将来の住まいについて」をお聞きました。

将来の住まいについての考え

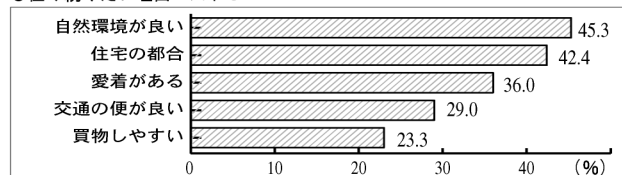


■将来の住まいについては、**今住んでいる家**（66%）が最も多く、**環境のよい住宅地**に住みかえ（12%）及び**市外**への住みかえ（10%）は約1割でした。
 ⇒今住んでいる家に住み続ける方が多く、住みかえる場合は住宅地の環境のよさなどが求められています。

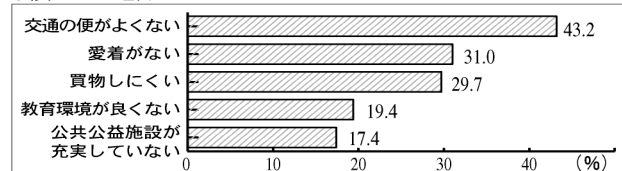
（参考）★総合計画のアンケート結果（平成17年5月実施）



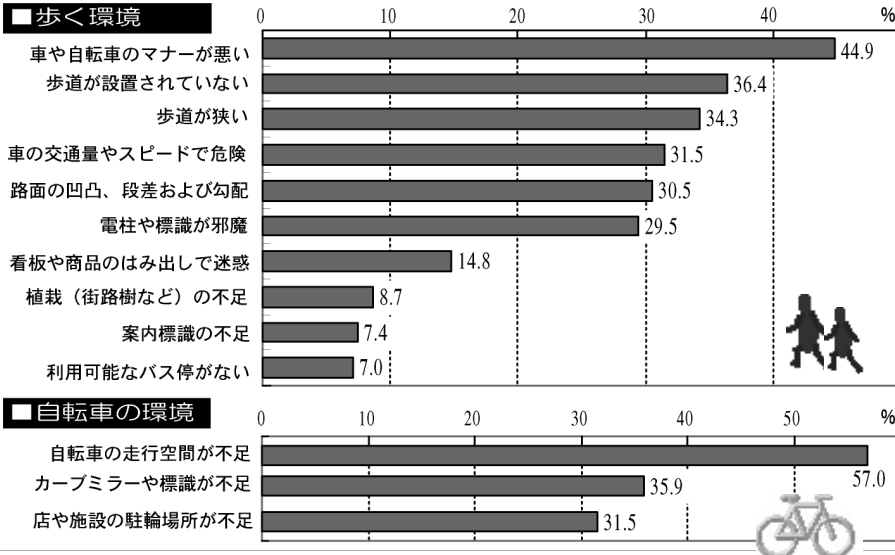
●住み続けたい理由ベスト5



●移住したい理由ベスト5



自宅近くの歩く環境と自転車の環境で改善が必要なこと

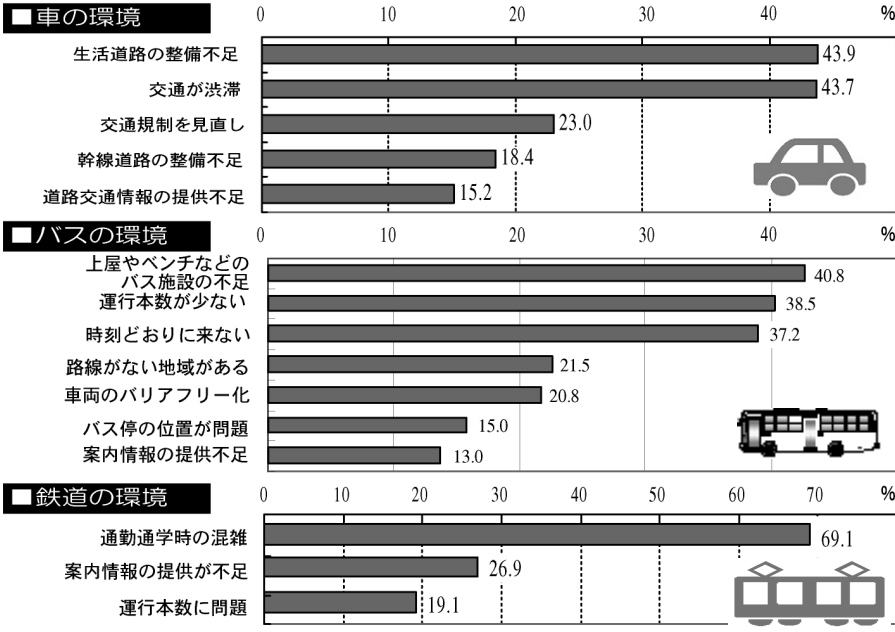


■歩く環境では、車や自転車のマナーが悪い(45%)が最も多く、次いで歩道がない(36%)、歩道が狭い(34%)、などとなっています。

■自転車の環境では、走行空間の不足(57%)がトップにあげられました。

⇒自宅近くでは、歩行者や自転車のための安全な環境づくりが求められています。

車の環境や鉄道・バスで改善が必要なこと



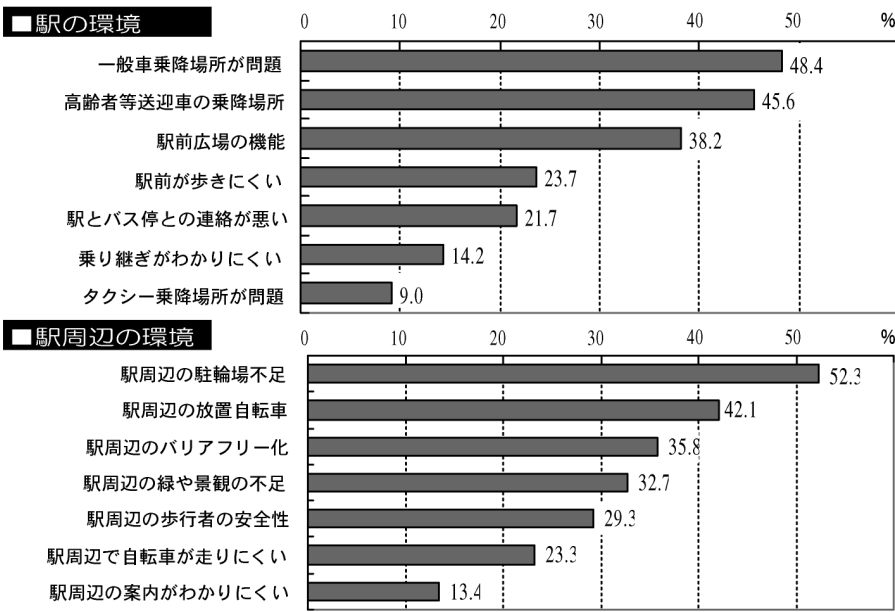
■車の走行環境では、生活道路の整備不足(44%)、交通渋滞(44%)が、主な改善点としてあげられました。

■バスの環境では、バス施設の不足(41%)、運行本数の不足(39%)、時刻どおりにこない(37%)が、高い割合で指摘されました。

■鉄道の環境では、通勤通学時の混雑(69%)がトップにあげられました。

⇒生活道路や渋滞解消のための道路整備とあわせて、バス、鉄道の利用環境の改善が求められています。

駅及び駅周辺の環境で改善が必要なこと



■「平塚駅」の環境では、一般車や高齢者等送迎用の車の乗降場所について、改善すべき、とする意見が多くなっています(48%、46%)。

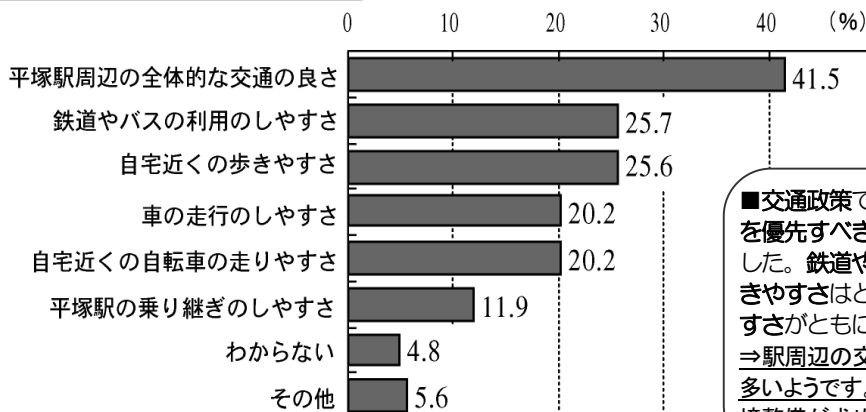
■平塚駅周辺の交通環境の改善点は、駐輪場不足(52%)と放置自転車(42%)が最も多く、次いでバリアフリー(36%)、緑や景観(33%)、歩行者の安全性(29%)などとなっています。

⇒平塚駅周辺では、駅前広場の改善、自転車問題の解消、バリアフリー化、緑や景観づくり、歩行者の安全性の確保、など、総合的な対策が求められています。

●交通政策

「今後の交通政策で優先すべきもの」をお聞きました。

交通政策で優先すべきもの



■交通政策では、平塚駅周辺の全体的な交通の良さを優先すべき(42%)という意見が最も多く寄せられました。鉄道やバスの利用のしやすさと自宅近くの歩きやすさはともに26%で、車及び自転車の走行しやすさがともに20%でした。
⇒駅周辺の交通環境に問題があると感じている市民が多いようです。また、どの交通手段についても適切な環境整備が求められています。

★市民の交通は？

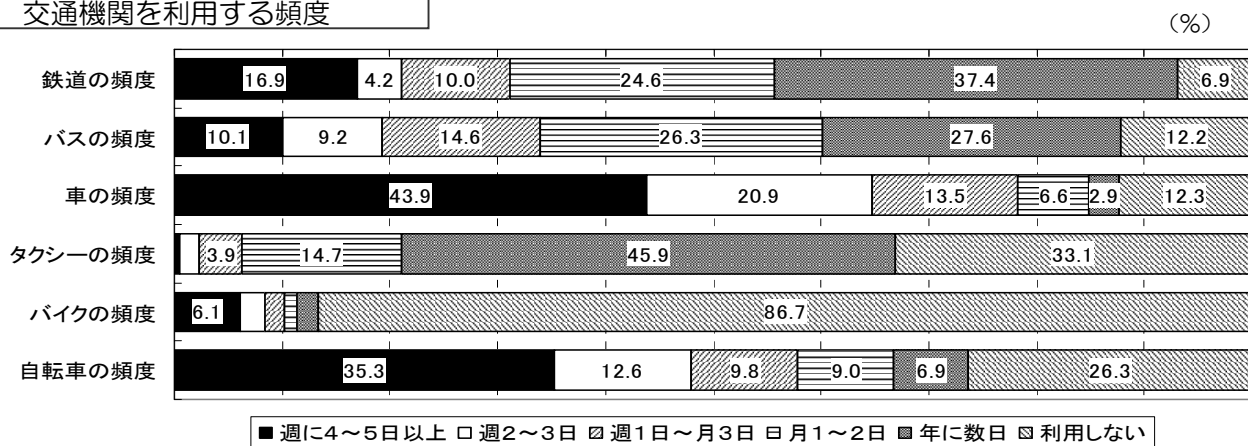
●交通機関の利用状況

「交通機関を利用する頻度」や「最寄駅及び駅までの交通手段」をお聞きました。

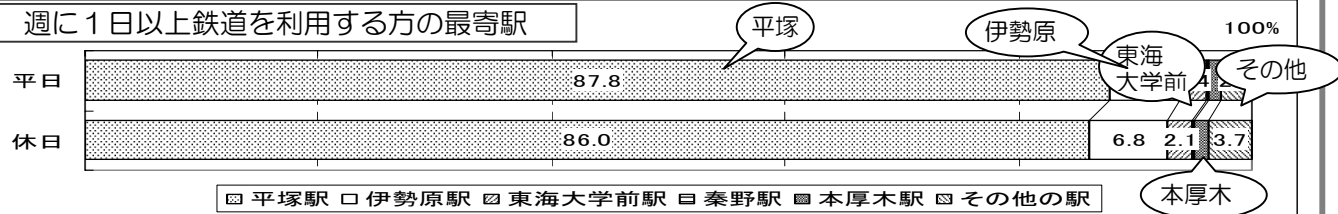
■鉄道とバスは「年に数日」「月1~2日」とほとんど利用しない人が多く、一方、車と自転車は「週に4~5日以上」と毎日利用している人が多くなっています。
⇒車、自転車、バスをはじめ、各交通機関の環境整備が望まれます。

■殆どの方が、平塚駅を利用しています。最寄駅までの交通手段は、路線バス(29~35%)が最多で、徒歩(23~25%)、自転車(21%)がバスに次いで多く、車は11%~17%です。
⇒平塚駅に集中する交通の円滑な処理が必要です。

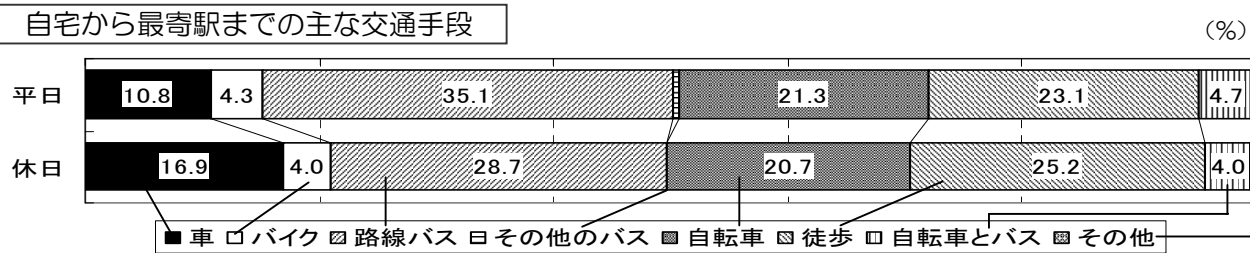
交通機関を利用する頻度



週に1日以上鉄道を利用する方の最寄駅



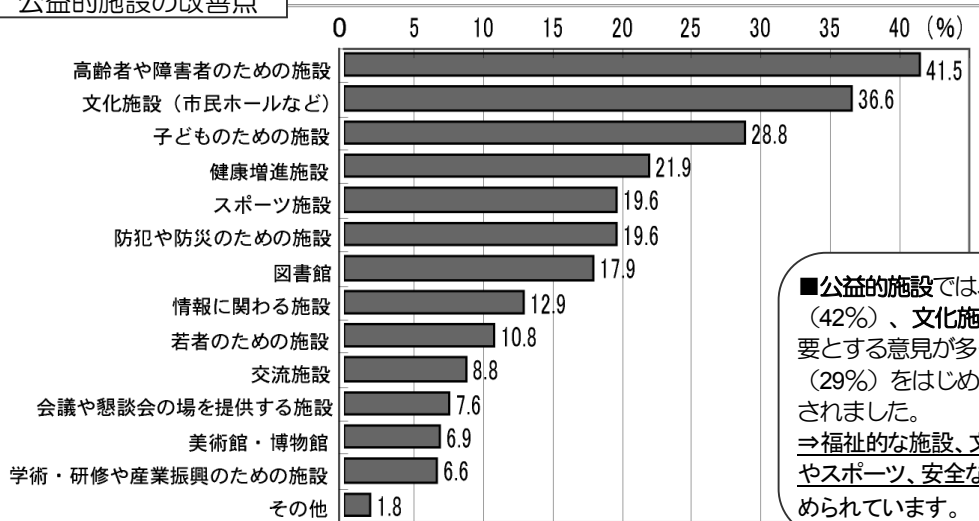
自宅から最寄駅までの主な交通手段



● **公益的施設**

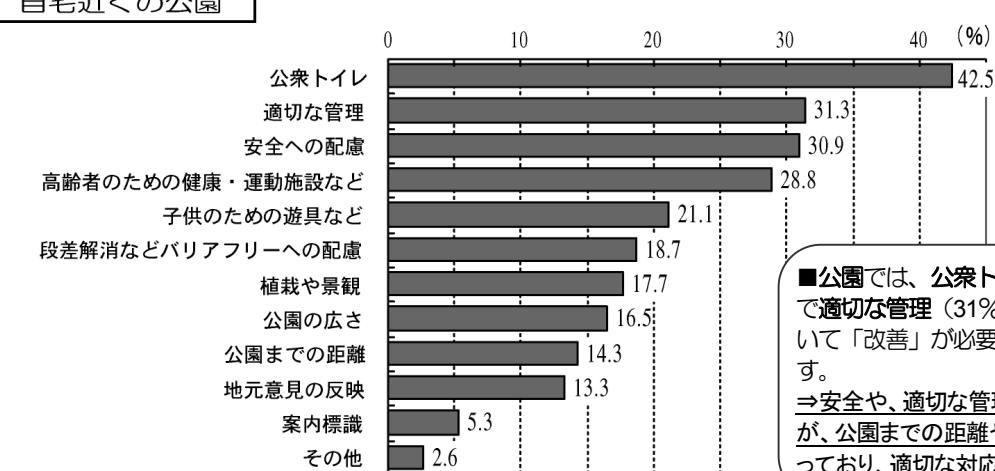
「特に改善が必要である公益的施設」についてお聞きました。

公益的施設の改善点



■公益的施設では、**高齢者や障害者のための施設** (42%)、**文化施設** (37%) について特に改善が必要とする意見が多く、次いで**子どものための施設** (29%) をはじめ、様々な施設が「改善」が求められました。
 ⇒福祉的な施設、文化的な施設をはじめ、子ども、健康やスポーツ、安全など、多様な目的の施設の充実が求められています。

自宅近くの公園

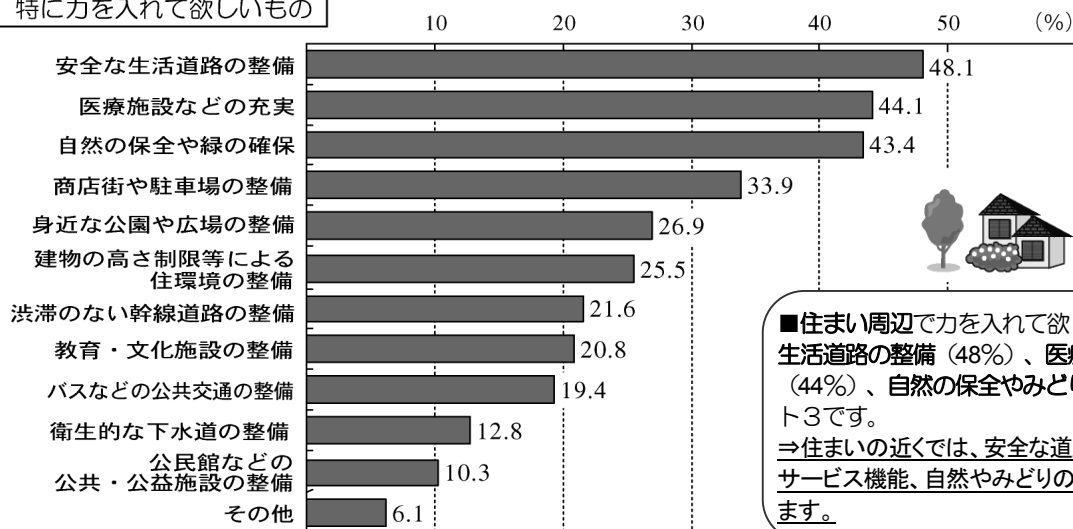


■公園では、**公衆トイレ** (43%) が最も多く、次いで**適切な管理** (31%)、**安全への配慮** (29%) について「改善」が必要とする意見が多くなっています。
 ⇒安全や、適切な管理など「質の向上」に対する意見が、公園までの距離や広さなど「量の拡大」を大きく上回っており、適切な対応が求められています。

● **住まい周辺の環境**

「現在の住まいの周辺」で「特に力を入れて欲しいもの」をお聞きました。

住まいの周辺で、特に力を入れて欲しいもの



■住まい周辺で力を入れて欲しいことでは、**安全な生活道路の整備** (48%)、**医療施設などの充実** (44%)、**自然の保全やみどりの確保** (43%) がベスト3です。
 ⇒住まいの近くでは、安全な道路環境、医療などの生活サービス機能、自然やみどりの環境などが求められています。

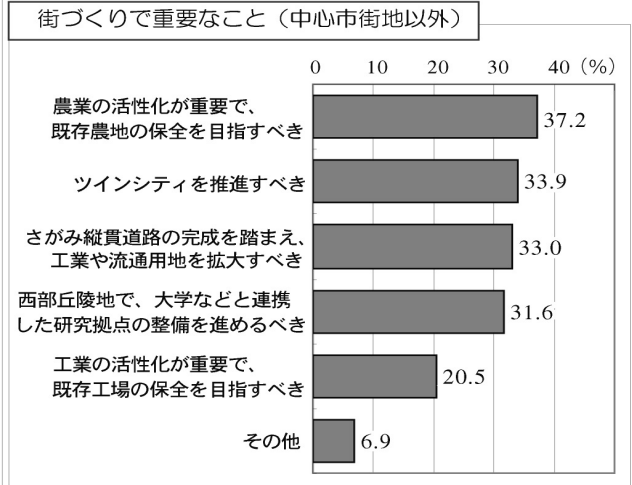
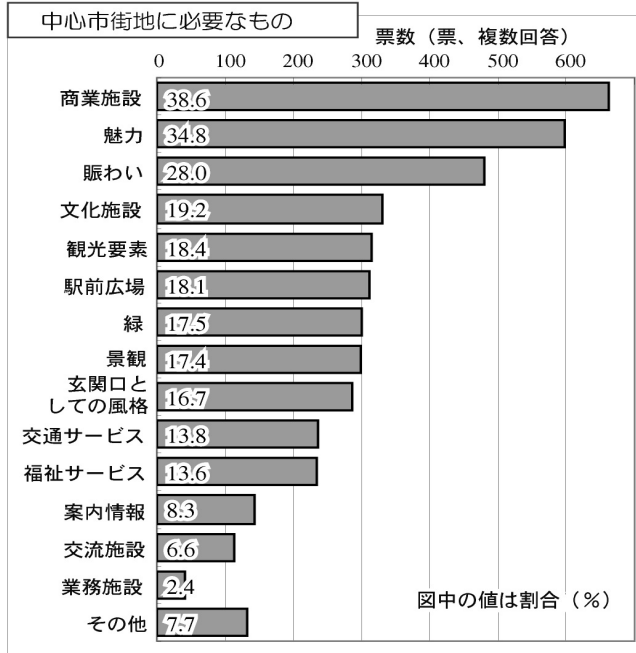
●平塚の価値を高めるためのまちづくりの方向

「平塚駅周辺の中心市街地で不足しているもの」と「中心市街地

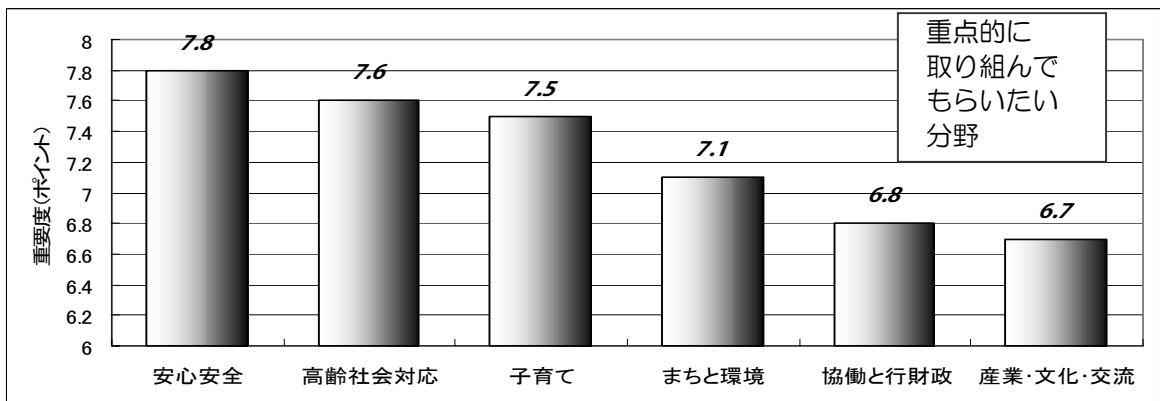
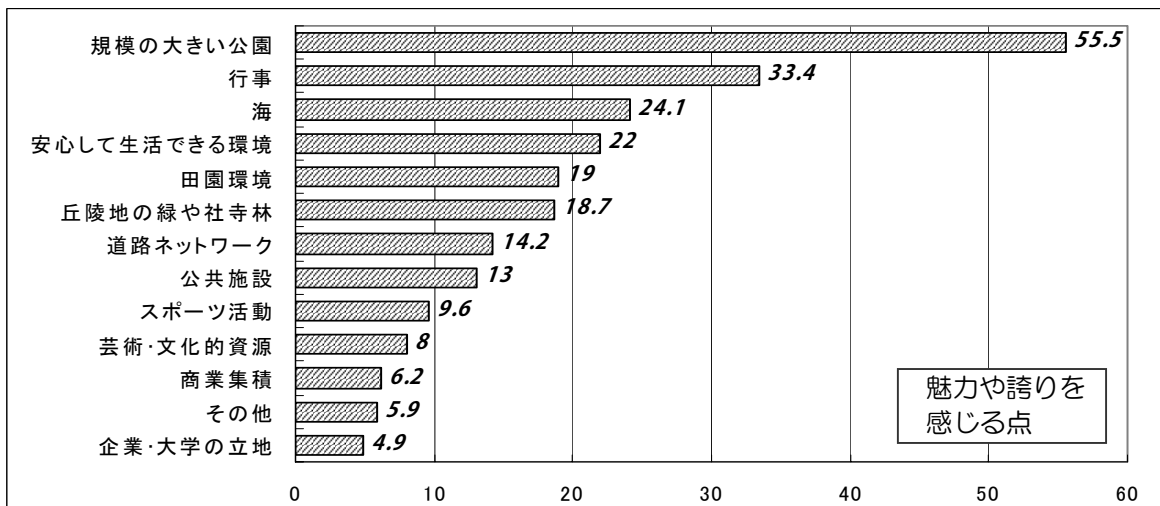
以外のまちづくりで重要なこと」についてお聞きしました。

■平塚駅周辺の中心市街地に必要なものでは、商業施設(39%)、魅力(35%)、賑わい(28%)がベスト3です。
⇒商業施設の不足による不便さを感じている市民が多く、さらに賑わいや魅力のある中心市街地が望まれています。

■中心市街地以外のまちづくりで重要なことでは、農業の活性化(37%)、ツインシティの推進(34%)、産業用地の拡大(33%)、西部丘陵地域での整備(32%)が、それぞれ支持されました。
⇒農業を重視する方が多いとともに、新たな都市拠点の整備や用地確保、研究機能拡充などの産業環境の整備によって、平塚市のバランスある産業を発展させていくことが求められています。

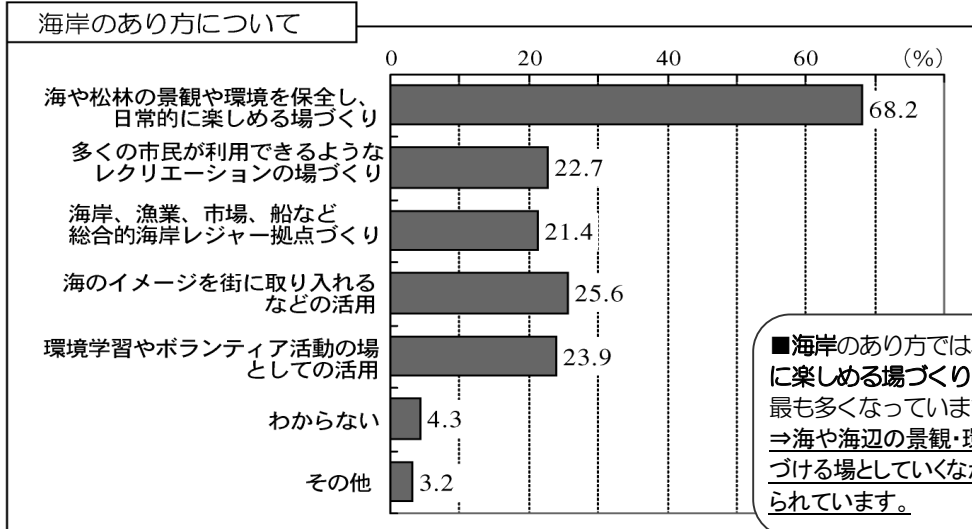


(参考) ★総合計画のアンケート結果 (平成17年5月実施)



●「海岸」「農地」「丘陵地」について-1

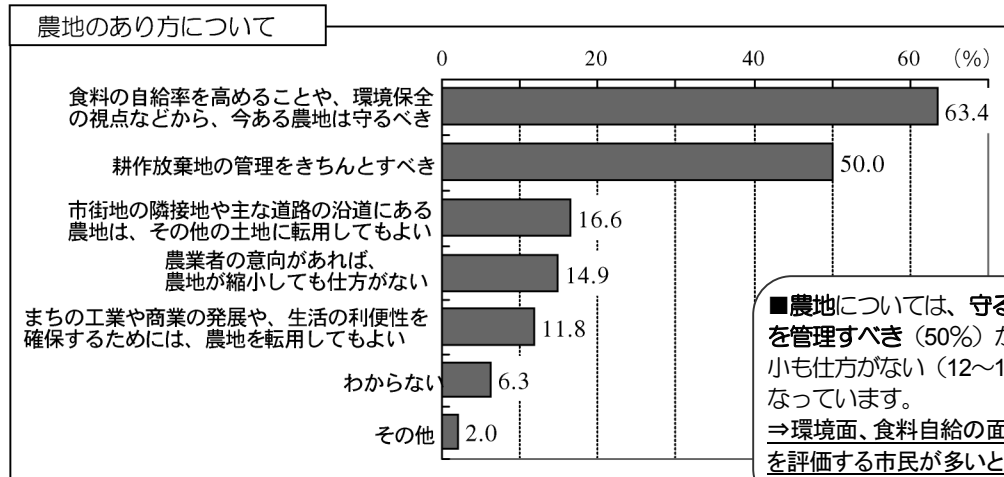
「平塚市の海岸のあり方」をお聞きしました。



■海岸のあり方では、景観や環境を保全し、日常的に楽しめる場づくり（68%）をすべきという意見が最も多くなっています。
⇒海や海辺の景観・環境の保全とあわせて、市民が近づける場としていくなかで多様な活用を図ることが求められています。

●「海岸」「農地」「丘陵地」について-2

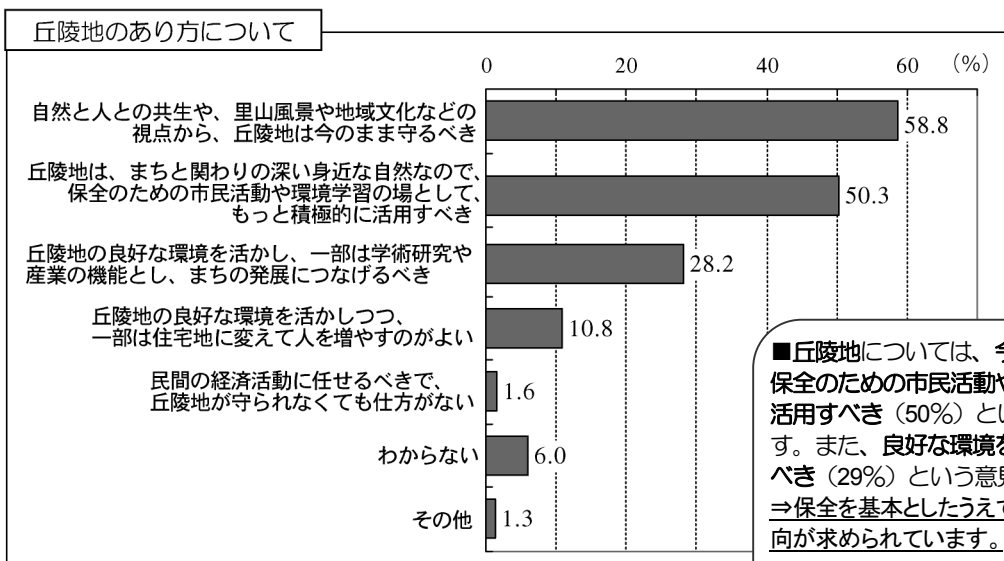
「平塚市の農地のあり方」をお聞きしました。



■農地については、守るべき（63%）、耕作放棄地を管理すべき（50%）が最も多く、逆に「転用や縮小も仕方がない（12~17%）」などの意見は少なくなっています。
⇒環境面、食料自給の面など、農地の持つ貴重な価値を評価する市民が多いと考えられます。

●「海岸」「農地」「丘陵地」について-3

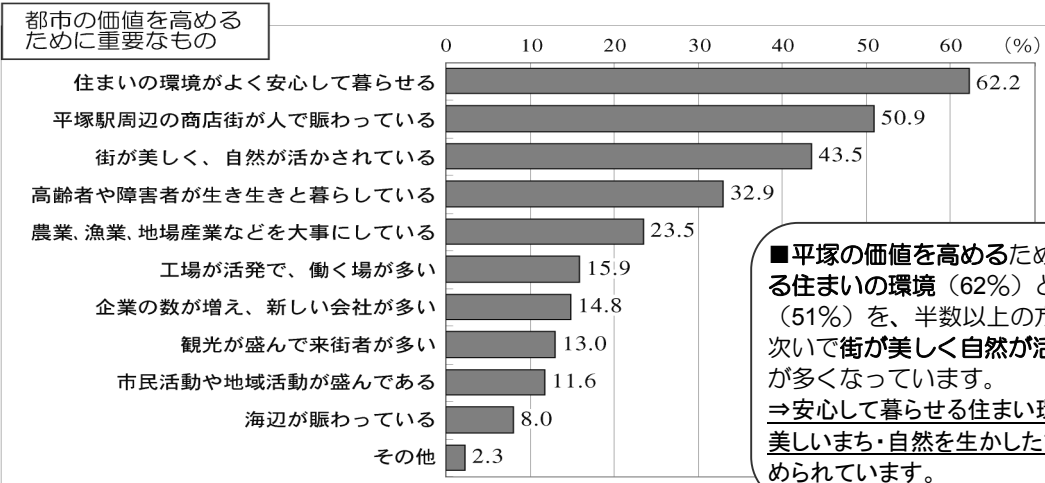
「平塚市の丘陵地のあり方」をお聞きしました。



■丘陵地については、今のまま守るべき（59%）、保全のための市民活動や環境学習の場としてもっと活用すべき（50%）という意見が多くなっています。また、良好な環境を学術研究・産業面に活かすべき（29%）という意見も寄せられています。
⇒保全を基本としたうえで、良好な環境を活用していく方向が求められています。

●平塚の価値を高めるためのまちづくり

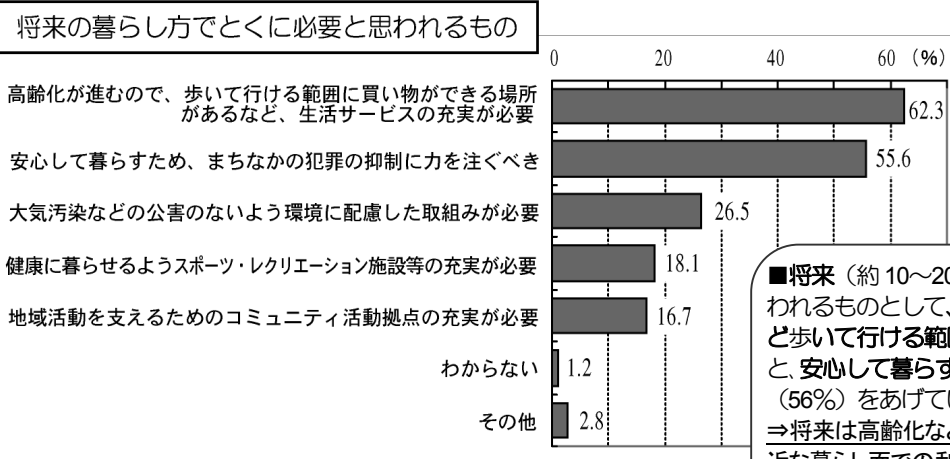
「平塚の価値を高めるために重要なこと」をお聞きしました。



■平塚の価値を高めるためには、安心して暮らせる住まいの環境（62%）と平塚駅周辺の賑わい（51%）を、半数以上の方が支持されています。次いで街が美しく自然が活かされている（44%）が多くなっています。
⇒安心して暮らせる住まい環境、駅周辺の賑わい、美しいまち・自然を生かしたまち、などのどれもが求められています。

●将来の暮らしの環境

「将来の暮らし方」で「とくに必要と思われるもの」をお聞きしました。

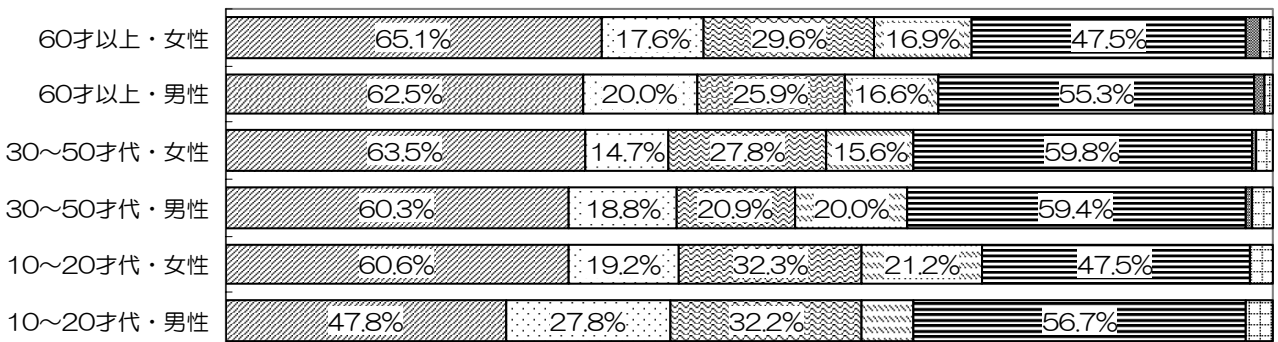


■将来（約10～20年後）の暮らし方で特に必要と思われるものとして、半数以上の方が、買い物場所など歩いて行ける範囲の生活サービスの充実（62%）と、安心して暮らすための街なかの犯罪の抑制（56%）をあげています。
⇒将来は高齢化なども進むことなどから、今以上に、身近な暮らし面での利便性や安全性の確保が求められていると考えられます。



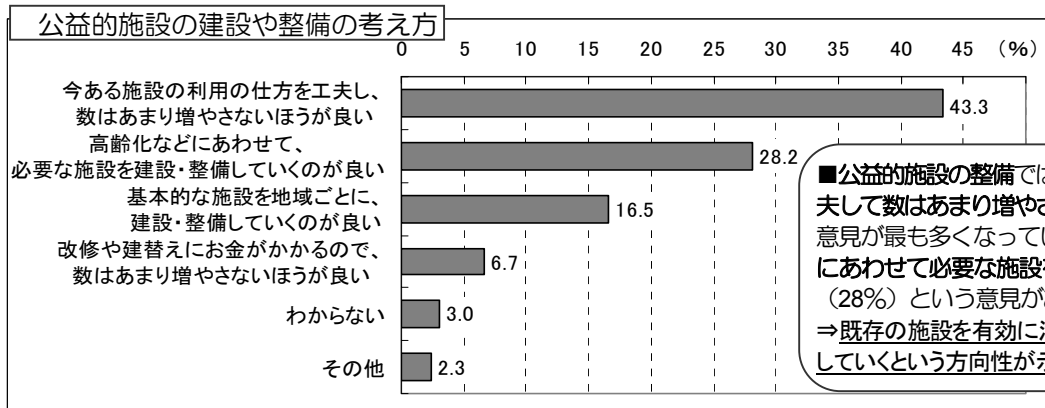
「将来の暮らし方で特に必要なもの」について、世代別・性別にみると、「生活サービス」は60歳以上の女性をはじめとした各世代で要請が高くなっています。「犯罪の抑制」も同様の傾向がみられます。また、若い世代の方は「環境」や「コミュニティ」に高い関心をよせています。

- 高齢化が進むので、歩いて行ける範囲に買い物ができる場所があるなど、生活サービスの充実が必要である
- 健康に暮らせるようスポーツ・レクリエーション施設等の充実が必要である
- 大気汚染などの公害のないよう環境に配慮した取り組みが必要である
- 地域活動を支えるためのコミュニティ活動拠点の充実が必要である
- 安心して暮らすため、まちなかの犯罪の抑制に力を注ぐべきである
- わからない
- その他



●施設の建設・整備の考え方

「公益的施設の建設や整備の考え方」をお聞きしました。



■公益的施設の整備では、今ある施設の利用方法を工夫して数はあまり増やさない方が良い(43%)という意見が最も多くなっています。次いで、高齢化などにあわせて必要な施設を整備していくのが良い(28%)という意見があげられています。
→既存の施設を有効に活用しつつ、必要な施設を整備していくという方向性が示されています。

●自由意見「(回答数765(記入率43.2%))

主なご意見、ご提案を紹介します。

■暮らしの環境に関する意見

- ・高齢者や障害者が尊厳を持って暮らせる町になりたい。
- ・早急に西口の階段にエスカレーターの設置を望みます。
- ・災害・犯罪のない都市づくりを。
- ・公害にもっと配慮した都市づくりをしてほしい。
- ・住みやすい都市へ前進してください。
- ・平塚ってきれいな町ですね、と見られたいです。

■道路・交通に関する意見

- ・道路渋滞をどうにかしてほしい。
- ・駅前ロータリーの再開が必要。
- ・子供や老人が安心して歩ける道路整備を。
- ・乗り継がなくては駅にいけない。バス路線が欲しい。
- ・今後の平塚市の発展のためには、鉄道の整備が必要。

■中心市街地及び商業に関する意見

- ・商店街に活気がなく賑わいが少ない。若い人が少ない。
- ・住んでいる所の近くに食品と衣類が充実した大きなスーパーがあるとうれしい。
- ・平塚のイメージは「古い」ので、「新しい」と思われる町にしていくことが一番大切。
- ・駅周辺がマンションは、賑わいが失われる元凶になる。
- ・歩いていて楽しい町づくりを希望しています。

■景観、みどり、自然に関する意見

- ・建物の色の規制など、駅周辺の景観を整えてほしい。
- ・市街地の環境整備に力を入れて欲しい。特に景観！！
- ・景観を重視した誇れる都市づくりを進めてもらいたい。
- ・海岸、丘陵に恵まれた事を生かしていない。
- ・海岸、農地、丘陵地は保全して欲しい。一度壊したものは元に戻らない、将来の子供達の為にも残して。

■公益施設に関する意見

- ・子供と安心して遊べる公園を増やして欲しい。
- ・スポーツ施設を充実して欲しい。
- ・高齢化社会に向けて気軽に皆がつどえるサロン形式の施設が欲しい。質素で充分、心ゆたかに暮らせれば。
- ・年金ではいれるぐらいの福祉施設が出来るといい。
- ・コンサートや演劇を観るところがない。市民センターは立替えも望む。西地区にテニスコートが欲しい。
- ・きれいな公衆トイレをつくってほしい。

■産業に関する意見

- ・自給率の高い都市を築くため、一次産業を隆盛させ、商業も発展させるべき。
- ・地場産業(工業、産業)の活性化を目指すべき。
- ・働く場所が少ないので産業の活性化や抜本的な地域の建て直しが必要。
- ・第2東名、相模新貫道路の完成を踏まえて流通用地の拡大を目指すべき。大神はツインシティの実現を望む。

■都市づくりの視点に関する意見

- ・湘南の一部として、海のイメージを強くもてるリゾート地だが、対外的に認知されていない。
- ・平塚の歴史、文化を子供から大人までが知る機会を多くし、町のよい所を自覚できるようにしたい。
- ・老若男女を問わず楽しめる(コミュニケーションできる)街づくりを考えるべきです。
- ・ほどよい人間関係を保ちながら、清潔で美しく住みやすい町になると良い。
- ・「子育てするなら平塚市がいいよ」と口コミで伝わる、子育てがしやすい都市になって欲しい。
- ・若い世代にとって魅力ある市政を考えて欲しい。

■実現の方法に関する意見

- ・税を無駄に使わずスリムな市政を行って欲しい。
- ・本当に必要なものだけをニーズに合わせ補うべき。
- ・高さ規制をする等、街の景観を美しくする街づくりをすべき。
- ・施設を新しくするより、施設のあり方、利用の仕方をもう一度工夫する必要がある。
- ・交通ルールやマナーの悪さが目立つ。教育が必要。
- ・市民のアイデアを市が具体化し、市は補助役に徹するのがこれからの行政のあり方だ。
- ・困っている所から良く見て改善を行って欲しい。

■その他

- ・商業、農業、工業、文化、教育、色々な面で中途半端な印象です。地区毎の特色を出して、何に力を注いでいかを考え、バランスのとれた町になると良い。
- ・今ある、またはなくなってしまった大事なものを守る事が本当の都市づくり。安易な人口増加より、人と人との関わりが深くなる、やさしさのもてる余裕のある街づくりを行ってほしい。

お問合せ先： 平塚市 都市政策部 都市政策課 都市計画担当
 電話 0463-23-1111 (内線 2428) FAX0463-23-9467
 URL : <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/toshi-s/toshimasu.htm>
 E-mail : toshi-s@city.hiratsuka.kanagawa.jp

ご協力
 ありがとう
 ございました